



チャレンジ☆アイ

- ◎自主性、創造性のある生徒(知育)
- ◎情操豊かな生徒(徳育)
- ◎健康でたくましい生徒(体育)

【祝 文部科学大臣表彰】～令和4年度 子どもの読書活動優秀実践校～

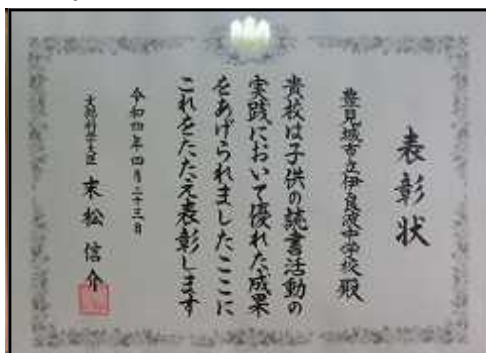
4月23日(土)に、東京の国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、「令和4年度『子ども読書の日』記念 子どもの読書活動推進フォーラム」が開催され、伊良波中学校は、「子どもの読書活動優秀実践校」として文部科学大臣表彰を受賞しました！また、豊見城市立中央図書館も「子どもの読書活動優秀実践図書館」として同じく文部科学大臣表彰を受賞し、学校部門と図書館部門でのダブル受賞となりました。ちなみに、伊良波中学校は、平成16年度にも同賞を受賞しており、通算2回目の受賞となります。(すごい!!)

平成13年に「子ども読書活動推進法」が制定され、その第10条で4月23日が「子ども読書の日」と定められました。文部科学省では、翌年の平成14年度から子どもの読書活動を推進するために、国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めると共に、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める活動について優れた実践を行っている学校、図書館、団体及び個人を表彰しています。

多くの学校がそうだと思いますが、伊良波中学校でもコロナ禍のため、ドリーム館(図書館)での図書の貸し出しや、読書関連行事、地域の方をお招きしての「読み語り」などの活動を十分に行えていない状況です。今回の文部科学大臣表彰は、そのような状況下での令和3年度までの継続的な活動に対して贈られたものと思います。今回の受賞に際しては、昨年度まで司書として本校に勤務し、図書館運営や生徒の皆さんの読書活動の充実に尽力なされた金慶子先生が実践報告書等を取りまとめてくれました。金先生に感謝の意を表したいと思います。ありがとうございました。

図書館(ドリーム館) における主な実践内容

- ① 「読み語り」(毎月第3火曜日)
- ② 5月の「読書旬間」と10月の「読書月間」
- ③ 「ブックトーク」活動(中央図書館と連携)
- ④ 6月の「平和月間」と12月の「人権月間」の活動
- ⑤ 「ファミリー読書の日」(毎月第3日曜日)
- ⑥ 「朝読書」(月2回)
- ⑦ 「ドリーム館だより」の発行(月1回)
- ⑧ 「新聞コーナー」の設置→社会関心を高める
- ⑨ 雑誌(11種類)の設置→部活動の充実
- ⑩ 辞典類の授業での積極的な活用
- ⑪ 先生方の「お勧めの一冊」の紹介(図書委員会)



「読書で出来る二つの対話、著者との対話、自分との対話」

「読書」とは、単に「本を読む」ことではなく、著者や自分との対話を通して自分自身や社会と「向き合う」こと。だから、考えが深まり、心が豊かになる！ GWには本も一冊！

【2年総合学習・3年社会】沖縄の歴史を学び、平和について考える

～4. 28(サンフランシスコ講和条約の発効)から考える沖縄の過去と未来！～

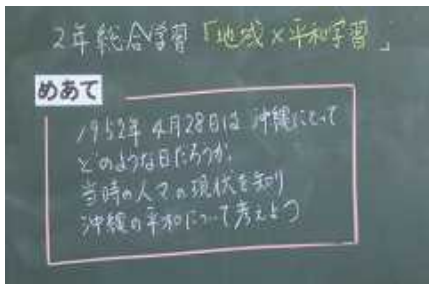
4月26日(火)と28日(木)の両日、2学年の総合的な学習の時間と、3年3組の社会科の授業で、「4. 28(1952年4月28日にサンフランシスコ講和条約が発効し、日本は独立を回復したが、沖縄や奄美群島、小笠原諸島は米国統治下に留め置かれた日)」を題材とした、沖縄の歴史を学び、平和について考える授業がありました。

今回は、内山直美教頭先生が中心となって授業に当たりました。内山教頭先生は、社会科の先生で、これまでも、「4. 28」の他に「5. 15(沖縄の復帰)」や「6. 23(慰霊の日)」を題材とする授業に精力的に取り組み、現在の背景となっている沖縄の歴史について学び、現在の沖縄が抱える問題やこれからの沖縄について考える授業を実践してきました。

2年生は総合的な学習の時間の「地域×平和学習」の第1時間目の授業として平和について考える足掛かりとしました。3年3組は社会科(歴史)の授業として本土復帰の理解につなげる内容、また、米国統治下の沖縄県民の生命・財産・人権などについて考える公民的分野の学習にもつながる授業でした。

【2学年「総合的な学習の時間」】 4月26日(火)5・6校時

2学年の授業は、2年7組が技術室で内山教頭先生の授業を直接受け、他の8クラスは各学級の電子黒板を通してのオンライン授業となりました。はじめに、ロシアによるウクライナ侵攻に関する写真などから「平和学習」や「平和でないと思うこと」などについて考え、その後、「1952年4月28日、70年前の沖縄、みんなで考えよう」という問いのもと、米軍統治下の沖縄の人々の暮らしや住民による様々な運動についての8枚の写真から読み取れることをグループで話し合い、当時の沖縄の社会や人々の様子や平和を関連づけて考えました。



【3年3組 社会科】 4月28日(木)4校時 「4. 28特設授業」

3年3組の社会科の授業は、4月28日当日に当たり、「4. 28から考える沖縄県」というテーマで特設授業を実施しました。内山教頭先生が中心に授業を進め、教科担任の上里優斗先生がICT機器の補助や机間指導に当たりました。

サンフランシスコ講和条約により独立を果たした日本とは裏腹に、米軍統治下に取り残された沖縄。住民の生命・財産などの人権が守られないことにつながる「4. 28」の歴史を知ること、本土復帰の背景となる当時の沖縄についての理解を促し、その後の沖縄県民の「選択」について考えさせることを意図した授業でした。

授業では、2学年総合学習と同じ8枚の写真を活用して、各グループで写真から読み取れることを話し合い、写真にタイトルを付け、それを全体で共有することで当時の沖縄の人々や社会の様子の全体像に迫りました。また、タブレットPCや電子黒板などのICT機器を活用することで、情報共有や発表をスムーズに行うことが出来ました。

